

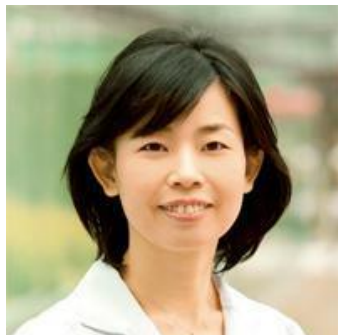
平成30年度
新制度運用開始

岡山総合診療専門医コース



専門研修プログラム統括責任者
松下 明

社会医療法人清風会
奈義・湯郷・津山ファミリークリニック 所長
岡山大学医学部医学科臨床教授
日本プライマリ・ケア連合学会理事



副プログラム統括責任者
片岡 仁美

岡山大学大学院医歯薬総合研究科
地域医療人材育成講座 教授
未来医療研究人材養成拠点事業推進責任者
地域医療総合診療実習コースプログラム責任者



副プログラム統括責任者
玉井 友里子

社会医療法人清風会
湯郷ファミリークリニック

平成25年度文部科学省の未来医療研究人材養成拠点形成事業に岡山大学と地域の医療機関が連携して参加し、「地域を支え、地域を科学する総合診療医の育成」プロジェクトが採択されました。

岡山県全域を5つのエリア（①県南東部エリア、②県南西部エリア、③県北東部エリア、④県北中央部エリア、⑤県北西部エリア）に分け、教育リソースの多い①岡山県南東部・②県南西部・③県北東部と、教育リソースは少ないが地域のニーズが高い④岡山県北中央部・⑤県北西部をバランスよく組み合わせることで、岡山県全域で良質な家庭医療後期研修を提供する新しいプログラムを開始して、岡山大学地域枠の医学生や自治医大の卒業生も義務年限中に家庭医療の後期研修を受けられるインフラが整ったところです。

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニックが基幹施設として、岡山大学GIMセンターと連携して管理するこのプログラムは現在3期生を迎えたばかりの若いプログラムですが、岡山家庭医療センター独自の津山中央病院と連携する家庭医療プログラムは平成18年から運用され、多くの卒業生を全国に輩出してきた歴史のあるものです。

こういった背景のもと、岡山家庭医療センター／津山中央病院家庭医療後期研修プログラムと岡山県全域地域を支え地域を科学する家庭医療後期研修プログラムが合流する形で、「岡山総合診療専門医コース」が立ち上がることとなりました。

岡山総合診療専門医コース研修プログラムは 2つのコースを設定しています

【Aコース】 募集定員：4名

岡山県北東部の奈義町・美作市・津山市に所属する医療機関（奈義・湯郷・津山ファミリークリニック／日本原病院／津山中央病院）で完結するプログラムです。

【Bコース】 募集定員：6名

岡山県全域の診療所・中小病院・大病院24施設をつなぐ大きなプログラム。文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業を引き継ぐもので、岡山大学地域枠医学生や自治医大卒業生の義務年限期間に総合診療専門研修が行えます。

家庭医療専門医育成の歴史がある岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニックが基幹施設となり、岡山県全体で良質な総合診療専門医を育成します。岡山大学GIMセンターと岡山家庭医療センター湯郷ファミリークリニックから副統括責任者を選出し、岡山県北部と岡山県南部の連携をスムーズに行いながら、プログラムを運営します。

プログラム理念

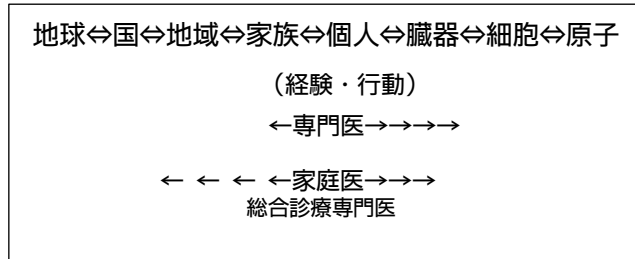
「心やさしく、頼りになる家庭医」を育てることをプログラムの理念に挙げています。また、患者中心の医療・家族志向のケア・地域包括ケアを実践し、年齢・性別に関わらず多くの健康問題に取り組み、包括的で継続的なプライマリ・ケアを効率よく提供できる家庭医を養成することを全体的な研修目標としています。

そして、上記の概念を統合する生物・心理・社会(Bio-Psycho-Social)モデルを重視した研修を行い、生物医学の修得と心理・社会的な医療の習得を、地域の病診連携の枠組みにおいて、同時進行で行います。

また、上記プロジェクトとして地域偏在の大きい岡山県北部の地域医療を支え、質の高い後期研修を提供し、教育リソースの少ないエリアの指導医養成や指導医支援を行います。

3年間を通して活用する重要なモデル

1) 生物心理社会モデル (G. Engel 1980)



現代の医療はどうしても傷んだ臓器を治すことにベクトルが向きがちだが個人と臓器の間の自律神経システムが乱れて体調不良を訴える患者はプライマリ・ケアの現場では多い。

家庭医療・総合診療の重要な概念モデルとして上記のように個人の中で何が起きているのかを知る【患者中心の医療】や家族と本人の関わりを理解する【家族志向のケア】、職場を含めた地域と本人の関わりなどを視野に、臓器の半分から地域の半分までカバーすることが求められている。

2) 家族の木



外来では患者と医療者の1対1の関わりが多いが、実は患者の背景には家族の木があり、患者がなぜタバコをやめられないのか、なぜ薬を怖がるのかなど患者の行動を理解する上で重要な概念モデルである。家族図を視野に入れた診療を行うことで、家族の木をイメージした診療が可能となる。

(家族志向のプライマリ・ケア丸善 2006より)

各コースのローテーションモデル

【Aコース】 募集定員：4名

岡山県北東部の奈義町・美作市・津山市に所属する医療機関（奈義・湯郷・津山ファミリークリニック／日本原病院／津山中央病院）で完結するプログラムです。

1年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	津山中央病院											
領域	救急			内科						小児科			
2年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	日本原病院						奈義ファミリークリニック					
領域	内科・総診Ⅱ						総診Ⅰ(週0.5日その他領域別)						
3年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	奈義／湯郷／津山ファミリークリニック(いずれか)											
領域	総診Ⅰ(週0.5日その他領域別)												

【Bコース】 募集店員：6名

岡山県全域の診療所・中小病院・大病院24施設をつなぐ大きなプログラム。上記の文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業を引き継ぐもので、岡山大学地域枠医学生や自治医大卒業生の義務年限期間に総合診療専門研修が行えます。最低6か月間は岡山県北部の地域医療病院での総合診療専門研修Ⅱを行います。

1年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	岡大病院・岡山市民病院・岡山済生会病院・倉敷中央病院など											
領域	救急			内科						小児科			
2年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	金田病院・成羽病院・高梁中央病院など						(選択研修期間)					
領域	内科・総診Ⅱ						その他の領域別						
3年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	哲西町診療所・清輝橋グループ・かとう並木通り診療所・岡山家庭医療センターなど											
領域	総診Ⅰ(週0.5日その他領域別)												

その他の研修内容

- ・地域での健康増進活動
(地域での講演活動・地域職種へのインタビュー・地域の健康問題へのプロジェクトワーク)
- ・地域医療実習や研修中の医学生・初期研修医、地域の多職種への教育活動
- ・地域の健康問題に対する研究 (必要に応じて岡大総合内科・疫学衛生学教室とも連携)

勉強会・カンファレンス等の教育機会

岡山家庭医療センターで行われる毎週木曜日午後の家庭医療レクチャー・家庭医療カンファレンス・行動科学ビデオレビュー・ポートフォリオ発表会などはTV会議システムを活用して、遠隔で研修を受ける専攻医にも提供されます。

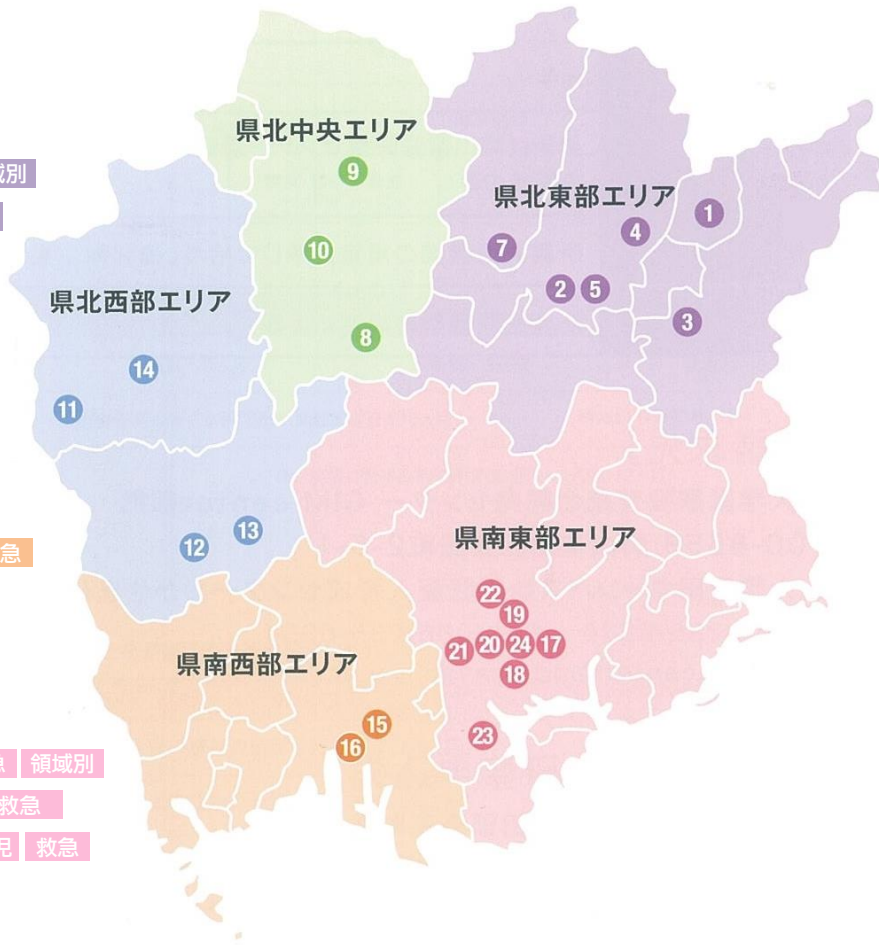
総合診療専門研修Ⅱや内科・小児科・救急研修期間は可能な範囲で HALF DAY バックを総合診療専門研修Ⅰの施設で行い、継続的に家庭医療・総合診療のコアを学ぶ機会を提供します。

経験省察研修録(ポートフォリオ)作成指導は岡山家庭医療センターの指導医と岡山県内の多くの指導医をリンクして、各サイトでの専攻医と定期的な面談(対面もしくはTV会議システム)を通して行います。

専門研修施設

岡山県

- ① 奈義ファミリークリニック 総Ⅰ
- ② 津山ファミリークリニック 総Ⅰ
- ③ 湯郷ファミリークリニック 総Ⅰ
- ④ 日本原病院 総Ⅱ 内科
- ⑤ 津山中央病院 内科 小児 救急 領域別
- ⑦ 鏡野町国民健康保険病院 総Ⅱ 小児
- ⑧ 金田病院 総Ⅱ 内科
- ⑨ 真庭市国民健康保険湯原温泉病院
- ⑩ 勝山病院 総Ⅱ
- ⑪ 哲西町診療所 総Ⅰ
- ⑫ 成羽病院 総Ⅱ 内科
- ⑬ 高梁中央病院 総Ⅱ 内科
- ⑭ 渡辺病院 総Ⅱ
- ⑮ 倉敷中央病院 総Ⅱ 内科 小児 救急
- ⑯ 水島中央病院 内科 小児
- ⑰ 安田内科医院 総Ⅰ
- ⑱ 佐藤医院 総Ⅰ
- ⑲ 片岡内科医院 総Ⅰ
- ⑳ 岡山大学病院 総Ⅱ 内科 小児 救急 領域別
- ㉑ 岡山市立市民病院 総Ⅱ 内科 小児 救急
- ㉒ 岡山済生会総合病院 総Ⅱ 内科 小児 救急
- ㉓ かとう内科並木通り診療所 総Ⅰ
- ㉔ 岡山記念病院 総Ⅰ 総Ⅱ



鳥取県

- ⑮ 鳥取市立病院 総Ⅱ 内科